

## ■地元のお酒で乾杯♪

さあ、いよいよ年が明けようとしています！  
年末年始、いろいろな場面でお酒を飲む機会も多いのではないのでしょうか。  
始めの一杯、あなたはどのお酒で乾杯をしていますか？

2013年の1月、京都市が「清酒の普及の促進に関する条例」という条例を施行しました。京都は全国有数の日本酒の産地ですが、清酒で乾杯という習慣を広めることにより、日本人の伝統産業や日本文化の理解の促進に寄与するという事を目的に制定されました。  
次いで、兵庫や福島などの日本酒の生産が盛んな都市でこの「乾杯条例」が制定され、九州では佐賀県が県全体でこの条例を制定。現在では24の自治体で施行されているようです。

焼酎の生産地でもこの条例が広まっています。  
鹿児島県いちき串木野市、宮崎県日南市、熊本県多良木町などがこの条例を取り入れています。  
日南市では乾杯に合う焼酎という事で、市内の蔵が共同で開発した、度数が低く、容量の少ない「乾杯日南」という焼酎や、乾杯用のグラスも発売されています。

鹿児島県では、この12月に「かごしま本格焼酎の産業振興と焼酎文化でおもてなし県民条例(案)」が県議会に提案され、可決されれば施行になるという事。この条例は、特産品の焼酎の普及を目指し県外からの来客を焼酎でもてなすという事を求めた条例で、制定されれば全国初になります。

流行りの「乾杯条例」ですが、「何のお酒で乾杯するかは個人の自由」「お酒を飲めない人もいる」という事で、酒造りが盛んな都市でもあえて不採択になった例もあります。  
もちろん、お酒は個人の自由ですので、この条例がある都市だからといって、法的な拘束力はありません。  
日本酒や焼酎は世界に誇れる日本の文化。条例が有る無しに関わらず楽しみながら、広めていきたいですね。

## ■トモちゃんコラム～黒田武士の逸話～

2014年の大河ドラマは黒田官兵衛が主役のようです。この黒田官兵衛の長男である黒田長政は、筑前福岡藩の初代藩主です。

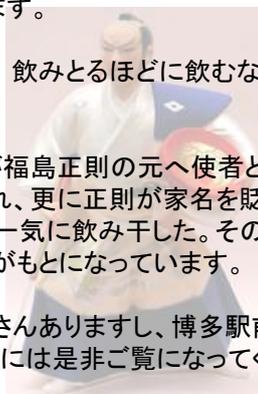
さてここ、福岡の民謡に「黒田節」というものがあります。

「酒は飲め飲め 飲むならば 日の本一のこの槍を 飲みとるほどに飲むならば これぞまことの黒田武士」

黒田藩きっての酒豪であった母里友信という武士が福島正則の元へ使者として使わされた際、大盃に注がれた酒をしつこく勧められ、更に正則が家名を貶める発言をしたため、この大盃に注がれた酒を数杯、一気に飲み干した。その褒美として、正則に名槍「日本号」を賜ったという逸話のもとになっています。

博多人形にはこの逸話をモチーフにしたものがたくさんありますし、博多駅前には友信の銅像がありますので、博多にいらした際には是非ご覧になってください。

そして、この逸話にあるからと言って、年末年始の一気飲みはご法度です！！



## ■焼酎紀行HP更新情報 (2013年12月12日～12月27日)

### □焼酎ニュース/業界だより

本格焼酎&泡盛試飲フェスタin福岡にて実施された、ご来場者人気ランキングの結果を発表！



### □お蔵探訪記

「黒霧島」で有名な霧島酒造株式会社様に研修に行ってきました！



### □焼酎ニュース/蔵元だより

福岡県目野酒造より、楽しめるリキュール「チョコバナナのお酒」発売！



### □焼酎検索

今月のこだわり焼酎、麦焼酎「老松 笑福来福」、麦焼酎「藤居 いらっしやいネコ」更新！



焼酎紀行はコチラ

お酒は20歳になってから適量を！

ヤマエ久野株式会社